

# さくら ほっと NEWS



## 特集

▶ **病院と市民の  
パートナーシップについて** P.2・3

## お知らせ

▶ **名市大病院からのお願い**  
▶ **MR・CTの共同利用について** P.4

### 理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

### 基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

## 名古屋市立大学病院

vol.23  
2013年1月

### 患者さんの権利等

#### 患者さんの権利

- |             |   |
|-------------|---|
| 良質の医療を受ける権利 | 患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。                    |
| 情報を知る権利     | 患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分でわかりやすい説明を受けることができます。       |
| 選択の自由の権利    | 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。 |
| 自己決定の権利     | 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。                   |
| 機密保持を得る権利   | 患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報には厳正に保護されます。                     |

#### 患者さんの責務

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 医療費の自己負担分は必ずお支払いください。

#### お願い

- 大学病院として、医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 病院と市民のパートナーシップについて

医療安全の向上には、病院だけでなく、市民の皆さんが参加・参画することが不可欠です。

医療機関として大学病院の置かれている立場を考えると、地元医療機関に通院中の患者さんが紹介受診される場合が多いことが予想されます。受診前の情報があることで、速く、正しい判断が下せることは、医師にとっても患者さんにとっても好ましいことです。当院のホームページでは一般市民に対して、“初診の患者さんのための5か条”を提示し、紹介状や過去の健康診断の結果の持参など、受診前情報の重要性をお知らせしています。ぜひ一度ご覧ください。

また、“安全は名前から”を合言葉に、フルネームで確認する意味とその重要性についてもポスターなどで紹介しています。外来で、薬局で、病棟で…何度も何度も“お名前は？”と聞かれると思います。同姓同名の方が多いこと、患者取り違えが重大な医療事故につながることをご理解ください。

市民の皆さんが“からだと病気”を知るため、患者情報ライブラリーにはインターネットに接続されたパソコンや、医療関係の雑誌が配置されています。さらに2か月に1回、病気に関するセミナーを開催しております。これらを通じて、患者・市民の皆さんが参加・参画する大学病院を作っていきたいと思っております。

医療・福祉地域連携室 吉田篤博

### 安全は名前から・・・

#### フルネームでお名前をどうぞ

あなたの安全を守るのはあなた自身です

お名前をお聞きした時はフルネーム(姓名)でお答えください。



#### フルネームでお名前をどうぞ

- 受付される時
- 外来診察室に入られる時
- 検査、採血、注射、点滴を受けられる時
- 手術、処置を受けられる時
- お薬をもらえる時 など



#### 「フルネームでお名前をどうぞ」

院内に掲示してあるポスターや電子掲示板の映像をご覧になった方も多いと思います。患者間違い防止のために、医療者は何回もお名前をお聞きしています。安全な医療のために、患者さんとのパートナーシップが必要です。ご面倒でも、必ずフルネームでお名前をお答えください。

また、院内には電子カルテへ顔写真が登録できる患者確認用写真撮影機(右写真)を用意しております。受診や入院の前などにぜひ写真撮影を行い、顔写真の登録をしてください。(設置場所：1階外来アトリウム)



### お薬情報やかかりつけ医からの紹介状をお持ちください。

安全な医療のためには、服用しているお薬の情報やかかりつけ医からの紹介状をお持ちいただくことが大切です。持病をかかえてお薬を飲んでいても、自分の病気や飲んでいる薬の名前や数量などを正確に言うことはなかなか難しいものです。

東日本大震災の際には、「お薬手帳」を持っていたため服用していたお薬の情報を正しく伝えることができた患者さんが多くみられ、改めて「お薬手帳」が患者さんと医療者との情報共有のために有用であることが認識されました。

当院では入院が決まった患者さんに対し薬剤師が面談を行い、服用している薬の確認を行っています。その際にも「お薬手帳」があると、今までの薬の情報や副作用の有無などを正確に把握することができます。ぜひ上手に活用してください。





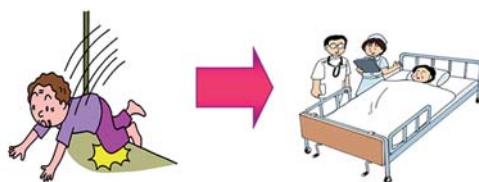
## 転ばぬ先の杖・・・

転倒による骨折は寝たきり原因の第3位です

入院生活は、普段の生活の場とは違ってきます。治療上の必要性による点滴や着なれない和式寝巻などが転倒の原因となる場合もあります。つるつるすべる履物は、トイレ移動の際などに思わぬ転倒につながります。入院の際は履きなれた、足のサイズに合った履物をお持ちください。入院生活上の移動に不安のある方は、ナースコールで看護師にご連絡ください。

また普段の生活の中でも、ちょっとした敷居や段差につまずいたことがある方は多いと思います。転倒予防のため、普段から筋力を維持できるように適度な運動を行うことも大切です。ご自宅でも廊下の段差や階段など身の回りに危険がないか確かめましょう。

### 高齢者の転倒は寝たきりの原因にもなります



## からだと病気を知りましょう

外来待合室にある電子掲示板では医療・健康情報をアナウンスしています。

また当院では、さまざまな医療情報の提供やご相談に応じています。ご自分のからだと病気を知るために、どうぞご活用ください。

### 患者情報ライブラリー(地下1階)

健康セミナーも開催されます

栄養相談室(1階・予約制)

患者相談室(1階)

肝疾患相談室(1階)

がん相談室(1階)

入院支援センター(1階)



## 全国的な医療安全活動の取り組みに当院も参加しています

平成23年度から医療安全全国共同行動に参加し、医療安全推進活動として「医療事故による有害事象発生を防止する」ことを目標に、右の9つのテーマについて医療安全管理室と院内の様々な部門のリスクマネージャーがチームとなって取り組み活動しています。今回は、患者の皆さんに医療安全への参加に関心を持っていただくためのお知らせをしました。

院内に掲示されているリスクマネージャー通信もご覧ください。

### テーマ

- ①危険薬誤投与防止
- ②周術期肺塞栓症の予防
- ③危険手技(経鼻栄養チューブ)の安全な実施
- ④危険手技(中心静脈カテーテル)の安全な実施
- ⑤患者・市民の医療参加
- ⑥安全な手術
- ⑦医療機器(輸液ポンプ・シリンジポンプ)の安全な操作と管理
- ⑧医療機器(人工呼吸器)の安全な操作と管理
- ⑨急変時の迅速対応

医療安全管理室 高木清子

## 名市大病院からのお願い

### 名市大病院は 特定機能病院です

特定機能病院とは、一般の医療機関では実施が難しい手術や最先端の高度な医療を必要とする患者さんを治療することができる病院です。

### 名市大病院の 役割をご理解ください

高度な医療を必要とする患者さんをひとりでも多く治療させていただくため、当院の受診をご希望の場合は以下の2点にご協力ください。

**1** まずは、**かかりつけ医**やお近くの診療所・一般病院にて受診してください。

**2** 当院へは、受診された医療機関からの**紹介状**をお持ちください。

### 1 かかりつけ医を持ちましょう

これまでかかった病気や服用中の薬など、日ごろからかかりつけ医と相談していれば、いざという時に適切な判断をし、高度な医療が必要な場合には最適な病院を紹介してくれます。

病気の予防や健康管理についても親身になってくれる存在です。あなたやご家族の健康のため、また急病の際に慌てないためにも、かかりつけ医を持ちましょう。かかりつけ医には、地域の診療所が最適です。

### 2 紹介状をお持ちください

紹介状が  
ある

現在までの病状・服用している薬・アレルギーの有無など、治療経過をあらかじめ正確に把握できるため、スムーズに受診していただけます。

紹介状が  
ない

検査や薬が重複して医療費が高額になったり、診療時間が長くなる場合があります。また、初診料のほかに「**初診料加算額**」をご負担いただきます。

## MR・CTの共同利用について

当院では、患者さんにとってより良い医療、療養生活を提供することを目的として地域医療連携の推進に取り組んでいます。

その一環として、日ごろはかかりつけ医等を受診している患者さんを対象に、MR・CTの検査機器を共同利用していただけるサービスを実施しています。

このことにより、患者さんの状態を詳しく把握しているかかりつけ医の受診を継続しながら、当院に設置している高度な検査機器を利用することができます。また、検査後には当院放射線科医が作成した読影レポートをかかりつけ医等に送付するなど連携して診療にあたっています。

MR・CTの共同利用は地域の医療機関を通じてお申し込みいただきますので、ご希望される場合は、かかりつけ医等にご相談ください。

MR検査は、1.5テスラの最新装置（シーメンス社：Magnetom Avanto）を使用します。



名市大病院

ホームページの検索方法の案内「名市大病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

名市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・感想をお寄せください。E-mailは [hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp) まで！